

『カクキューの八丁味噌を愛した著名人』
～ 千賀 又市（せんが またいち） ～

1869年（明治2年）～1918年（大正7年）

愛知県岡崎市出身。岡崎市初代市長。岡崎市名誉市民。

町制時代の岡崎町長に選ばれ2回重任。市制施行の機運醸成につとめ、1916年（大正5年）市制施行とともに初代市長になりました。

性来文人肌で多くの文人墨客と交わり、岡崎の教育振興に努力しました。雅号を「鶴堂」と称し、多くの漢詩を残しています。

在職中の1918年（大正7年）7月12日に急逝し、2日後に市葬が行われました。

当社史料室には大正時代の汲古会発会式案内状、ハガキ、『鶴堂遺稿（上・下巻）』などが残っています。下巻には、志賀重昂があとがきを寄せています。

「志賀重昂」について詳しくは当社ホームページの「カクキューの八丁味噌を愛した著名人～志賀重昂～」をご覧ください。



千賀又市

（昭和54年1月5日発行
「岡崎の人物史」より）

拜啓
 時下陽春ノ候愈々御清健奉賀候陳者
 岡崎汲古會發會式別紙ノ通舉行候條
 御參列相成度此段得貴意候
 大正七年四月十三日
 岡崎汲古會創立委員長 千賀又市

汲古會發會式順序
 大正七年四月十七日午前第六時
 縣社龍城神社ニ於テ奉告式執行
 庭上式（立禮）
 午前十一時 會場市公會堂
 一 會員着席
 一 來賓着席
 一 一同禮
 一 開會ノ辭
 一 經過報告
 一 座長推薦
 一 會則附議
 一 役員選舉
 一 會長式辭
 一 來賓祝辭
 一 閉會ノ辭
 一 一同禮
 終リ記念品贈呈
 來賓及會員ニ午餐
 午後一時
 講演會（講聽隨意）

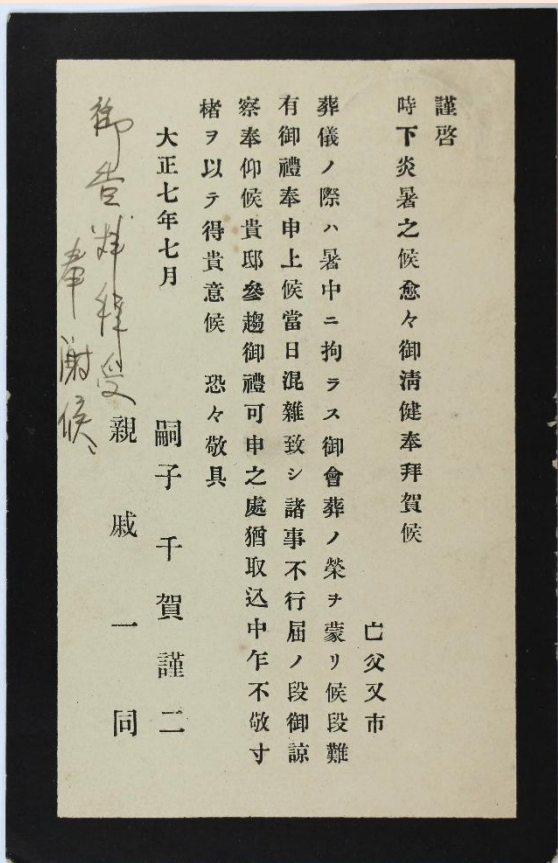
岡崎汲古會發會式の案内状と次第
 (大正7年4月)

御多事初及、候着旨は仰承り申
 取以事知、如く分收、是等史料
 蒐集、有汲古會を、私、採、取、り、し
 其、公、費、不、以、秘、蔵、に、在、り、能、録、類、不
 拜、又、仕、宜、近、に、抽、筆、書、交、手、上、の
 致、言、は、多、忙、中、達、感、に、承、り、候、也
 岡崎汲古會
 其、主、務、に、就、は、後、任、に、是、り、不、承
 先、降、り、及、希、候、也、拜、具
 大正七年
 五月廿三日
 岡崎汲古會 委員長
 千賀又市
 早川林古書房
 岡崎市八幡町
 早川林古書房の敬

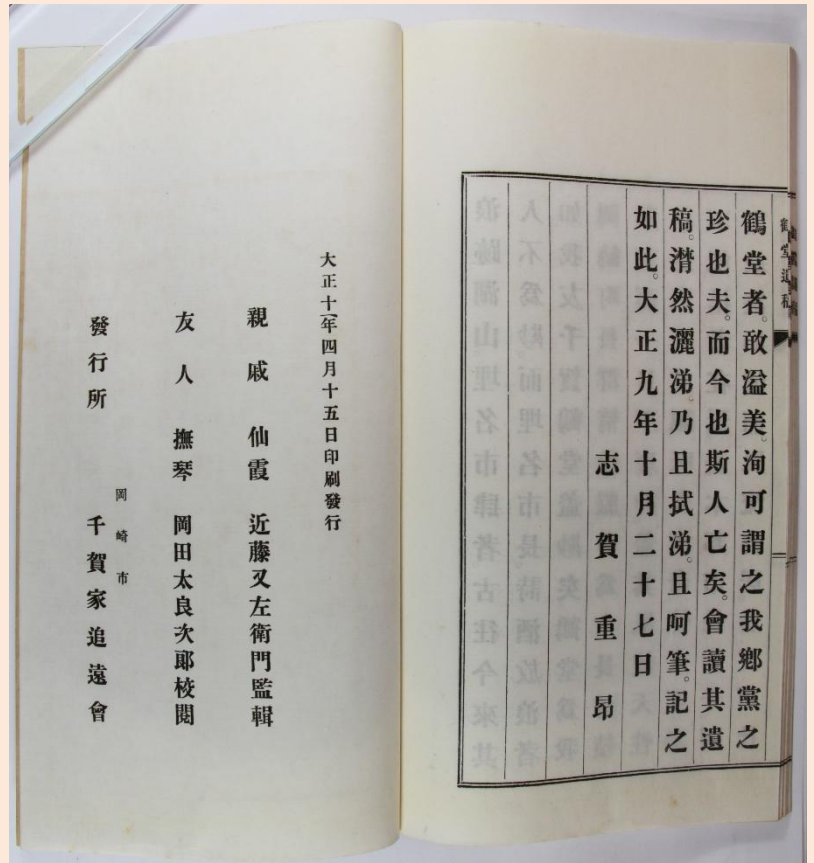
岡崎汲古會として古文書記録類を調査したい旨が書かれた手紙
 (大正7年5月23日)



岡崎市市制記念スタンプの押されたポストカード
(大正5年7月1日)



千賀又市の遺族より葬儀参列の礼状
(大正7年7月)



『鶴堂遺稿 下巻』巻末の志賀重昂によるあとがきと奥付
(大正11年4月5日発行)